

アジアスポーツ法学会国際学術研究大会 2015

兼日本スポーツ法学会第 23 回大会

1. 大会テーマ

アジアにおけるオリンピック・パラリンピック開催をめぐる法的諸問題
ー北京から平昌そして東京への法的整備の推進と課題ー

2. 趣旨

アジアスポーツ法学会会員国である日本、韓国、中国は、アジア地域でのオリンピック及びパラリンピックの開催を経験し、あるいはまた次の大会を目前にしている。アジアの中でのスポーツ先進国といえる3カ国が、過去の経験とアジア地域の特殊性をふまえて、とかく欧米諸国の論理で決められることの多いオリンピック・パラリンピックにおける法的諸問題についてどのように整理し、どのように法的整備に取り組んでいくかは、今後の経済発展が大きく予想されるアジア地域におけるロールモデルを作ることにもつながる重要な作業である。本大会ではオリンピック・パラリンピックをめぐるさまざまな法的諸問題に光をあて、その解決の方策や課題について検討することを主な目的とする。

3. 日時

2015年9月18日（金）及び9月19日（土）

4. 会場

筑波大学 東京キャンパス文京校舎 (112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1)
(丸の内線茗荷谷駅下車徒歩2分) (下記地図参照)
http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html

5. 主催 アジアスポーツ法学会・日本スポーツ法学会

共催 筑波大学

後援 文部科学省（折衝中）

公益財団法人日本オリンピック委員会

公益財団法人日本体育協会

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

公益財団法人日本スポーツ仲裁機構

公益財団法人日本アンチドーピング機構

一般社団法人日本スポーツ法支援・研究センター

筑波大学オリンピック教育プラットフォーム (CORE)

第一東京弁護士会 総合法律研究所 スポーツ法研究部会

第二東京弁護士会 スポーツ法政策研究会

大阪弁護士会 スポーツ・エンターテインメント法実務研究会

6. 記念講演

杉浦久弘（一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会大会
準備運営局長）

「東京オリンピック・パラリンピックの開催における法的課題」（仮）

7. シンポジウム

テーマ アジアにおけるオリンピック・パラリンピック開催をめぐる法的諸問題
ー北京から平昌そして東京への法的整備の推進と課題ー

8. 研究セッション

セッション1 オリンピック・パラリンピックとスポーツのインテグリティ

セッション2 オリンピック・パラリンピックの持続的発展

ー環境、レガシー、ガバナンスー

9. 招待者等宿泊先ホテル

東京ドームホテル（東京都文京区後楽園 1-3-61）（Tel: 03-5805-2111）

<http://www.tokyodome-hotels.co.jp/>

・宿泊予約を希望する場合には、日本スポーツ法学会事務局までお問い合わせください。
（1泊 15000円）

10. レセプション会場 18日夜

茗溪会館 予定（東京都文京区大塚 1-5-23）（Tel: 03-5805-2111）

<http://www.meikei.or.jp/about/meikeikaikan>

11. フェアウェルパーティー会場 19日夜

レストラン バルコ (Barco)

東京ドームシティ ミーツポート 2階 電話 03-5805-3167

www.tokyodome-hotels.co.jp/restaurants/baro

12. 大会役員及び組織委員会

大会役員

会長 望月浩一郎

名誉会長 中川昭（筑波大学体育系長）

大会組織委員会

委員長：望月浩一郎

副委員長：井上洋一、白井久明

大会事務局長：斎藤健司

大会副事務局長：伊東卓

実行委員会

日本スポーツ法学会 理事・監事・事務局員一同

13. 大会日程

2015年9月17日(木) 移動日(中国・韓国参加者来日・ホテル到着)

2015年9月18日(金)

11:00 外国人招待者等宿泊先ホテル出発
12:00～ 受付(134講義室出入口向かい側ロビー)
昼食
13:00～13:20 開会行事(134講義室)
13:20～14:00 記念講演(134講義室)
14:00～14:10 休憩
14:10～15:50 シンポジウム(1名発表20分×3名)(134講義室)
15:50～16:00 休憩
16:00～17:40 研究セッション1(1名発表20分×3名)(120講義室)
研究セッション2(1名発表20分×3名)(121講義室)
17:50～18:20 アジアスポーツ法学会理事会(119講義室)
18:30～ レセプション(茗溪会館)

2015年9月19日(土) (スポーツ法学会自由研究発表兼ねる)

8:30～ 受付
9:00～12:20 自由研究発表(3会場)(119, 120, 121)
(1名発表20分×3名)(質疑各5分)
13:00～ オプショナル・ツアー(東京スカイツリー・浅草など観光)
(対応:両毛トラベル・観光バス45人 担当:小林秀夫)
14:15～15:15 東京スカイツリー 入場制限1時間のみ
19:00～ フェアウェルパーティー(バルコ)

2015年9月20日(日) 外国招待者帰国日

* オプショナル・ツアー情報

東京スカイツリー

<http://www.tokyo-skytree.jp/>

浅草観光

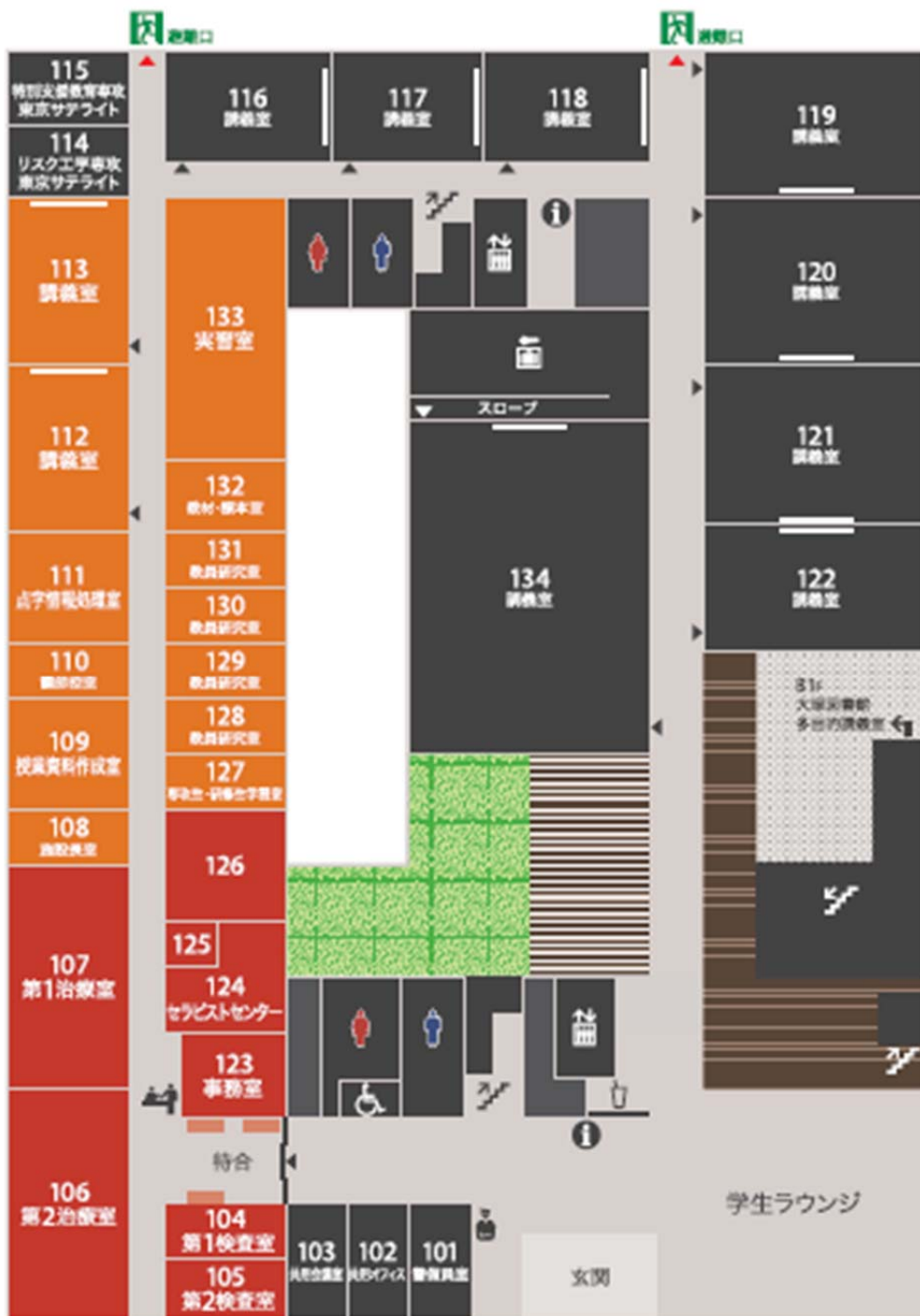
<http://asakusa-kankou.com/>

14. 会場 筑波大学東京キャンパス

使用教室等 117 講義室、118 講義室、119 講義室、120 講義室、121 講義室、
122 講義室、134 講義室

夜間に他の利用があるため、18日も18時までに完全に明け渡す必要がある。

クローク 118 使用、コーヒースタンドコーナー 122 使用、役員 117 使用



15 参加申込方法

- (1) 申込み登録期間

2015年4月15日 大会発表申込み締切
2015年4月末 大会プログラム原案作成
2015年6月末 大会発表原稿提出締切（所定の書式による。）
①母国語の大会発表原稿フルテキスト
②英語による大会プログラムのアブストラクト用原稿
2015年7月初旬 大会発表者及びプログラム確定
2015年7月中 翻訳作業など
2015年7月末 大会抄録集及び大会プログラム印刷原稿締切
2015年8月末 抄録原稿完成
2011年9月上旬 抄録等関連冊子完成

抄録・英文アブストラクト執筆要綱を参照してください。

(2) 大会参加費 2万円 （資料代及びレセプション費用を含む）

(3) 参加資格

- ・日本スポーツ法学会、中国スポーツ法学会または韓国スポーツ法学会の会員であるもの、及びこれらの学会から推薦を受けた者

(4) 参加申込

- ・所定の参加申込書に必要事項を記入の上、日本スポーツ法学会事務局宛にメール info.jsla@gmail.com で申込みこと。
- ・中国スポーツ法学会及び韓国スポーツ法学会から学会の推薦を受けて講演または発表を行う者も、申込用紙を提出すること。

(5) 発表言語及び発表手順

- ・日本語、中国語または韓国語
- ・発表は事前に提出した抄録原稿に沿って母国語で行うこと。
- ・発表抄録は、提出した原稿の言語以外の言語を含めて、三か国語（韓国語、中国語、日本語）にて抄録集に掲載される。
- ・発表時間 20分 （シンポジウム、研究セッション、一般研究発表）
- ・発表後の質疑応答には、通訳を付ける。

(6) 問い合わせ先

日本スポーツ法学会事務局

〒160-0017 東京都新宿区左門町 13-1 四谷弁護士ビル 506 新四谷法律事務所内

Tel: 03-3357-6020

Fax: 03-3357-1387

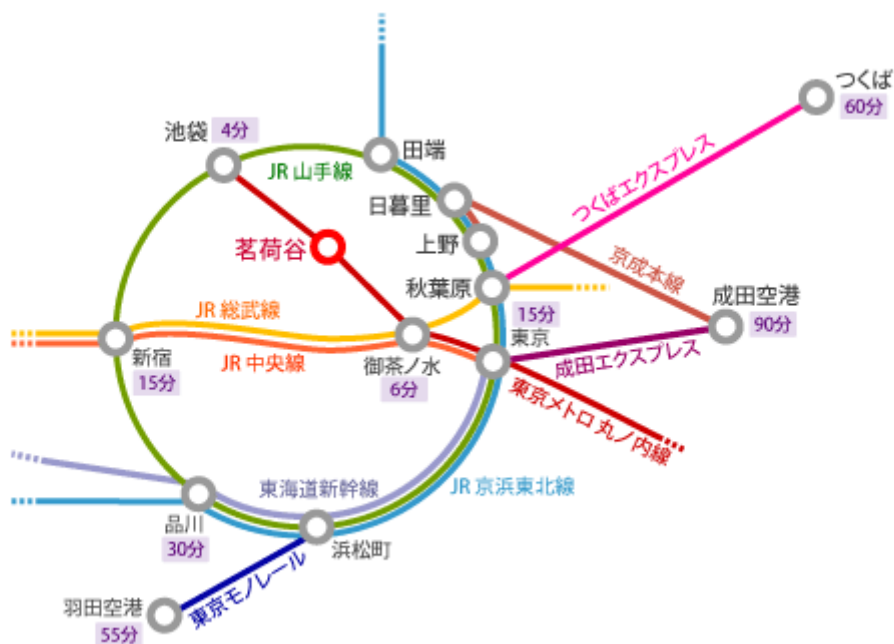
E-mail: info.jsla@gmail.com

16. アクセスマップ及び会場案内図

(1) 筑波大学東京キャンパス文京校舎

(112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1) (丸ノ内線茗荷谷駅下車徒歩2分)

http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html



(2) 東京ドームホテルへのアクセス

<http://www.tokyodome-hotels.co.jp/transportation/>

